



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 32-6443



原発再稼働ストップ

能登半島地震でわかった原発の危うさ！「逃げ道は壊れ、断層は佐渡沖まで連動？」 柏崎刈羽原発の再稼働などあいえない！

市民検証シンポジウム

1月21日、新潟市内で「原発の市民検証委員会シンポジウム」が開かれ、遠藤れい子は参加しました。

パネルディスカッション

「柏崎刈羽原発の再検証ー再稼働の議論を始める前に」

パネラーは元県検証委員の6人の方々です。

- *コーディネーター 佐々木寛
- *パネラー 大河陽子、木村真三、立石雅昭、松井克浩
- *ZOOMで参加 池内了
- 能登半島地震で、原発再稼働への不安が高まっています。150キロの断層が動き、佐渡沖まで連動していると指摘されました。



○いまだ解明できない「断層」があるということではないでしょうか。新潟県中にはひずみの集中帯があり、それが連動しないことの保証はありません。

○原発事故は地震や津波などの発生に伴って起きる複合災害であり、災害時に避難するなどできません。

原子力規制委員会は

東電柏崎刈羽原発の保安規定変更を認可しました。

○原子力災害は起こしたら取り返しがつきません。地震が起き津波が発生し、原発事故が起きたらどうなるかを予測した検証が必要ですが、県の総括は県民が判断できるものになっていません。

○政府は東電福島第一原発事故の教訓を忘れ、原発再稼働の政策に大転換しました。福島の方は大変傷ついています。「社会はなにも変わらない。大変だった

自分たちの経験は無視され、生かされない」との悲痛な言葉が心に残ります。
今、原発再稼働を自分事として考える時
花角知事は3つの検証を不十分のまま終了し、いまだ県民への「再稼働の是非を問う」方法を明確にして

いません。
今こそ、県民一人一人が主体的に原発の安全性や避難方法を検証していきましよう。大人も子供も一緒に話し合い、「我が家で話し合ったこと」を、花角知事に届けましょう。一人の声を、家族の声を届けましょう。

1月23日、テレビは「氣象庁は警報級の大雪の恐れ、不要な外出は控えて」と呼びかけていましたが、午前中は雨降りでした。遠藤れい子は竹島良子元県議等と街宣カーで中島地域を巡回し少々でお話しました。

「自民党の裏金事件は22年



遠藤れい子の笑顔でファイト

「自民党の裏金事件は22年原発は廃炉にしましょう！」
「賃金が上がらない日本にした自民党政治を終わせませう。農業を支援し、自給率の改善を。日本共産党の躍進で暮らしを守る政治に大転換しましょう！」

自民党は「裏金」に関わった議員名と全貌を明らかにせよ！
検察は国会議員に甘過ぎる！裏金事件の全容を明らかにせよ！

募金の報告
(1月28日現在)
能登地震支援
689,800円
ガザ人道支援
77,574円
ご支援感謝！